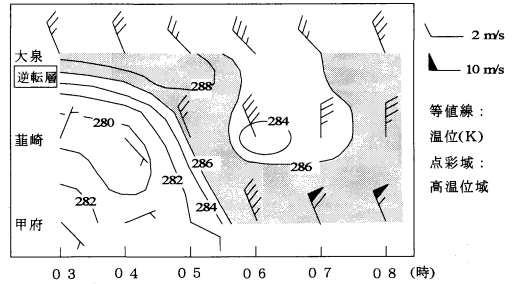


第2図 静岡県天竜高温時の概念モデル



第3図 甲府盆地内の温度・風鉛直分布の時間変化 (2000年4月1日)

海拔高度：大泉 (867 m)、斐崎 (351 m)、甲府 (273 m)

* 海拔高度の異なる観測所の温度に基づき、温度の高度分布を推定したものである。大泉・斐崎の温度は、甲府の現地気圧を高度補正した気圧を使用して計算した。

いることがわかりました。

以上、これまでの主な調査についていくつか簡単に紹介しました。

これまで調査を行った中で実感したことは、調査を進める段階で必ず壁があるということです。特に現象の原因を探る調査については、様々なデータから原因をさぐるため、その原因を頭の中で整理する段階がとても辛く感じます。しかし、その段階がいちばん大切な時間だったと、後になって気がつきます。

これまで調査研究を続けてこられた支えとして、学生時代に筑波大学の河村武先生からいただいた「長い時間スケールでものごとを考えなさい。」という言葉が挙げられます。これは地道に努力し続けることの大切さを示されたものですが、当時20代前半の自分にとって、あまり実感できるものではありませんでした。し

かし、気象庁に入ってから小さな調査研究を積み重ね、17年経た今、この賞をいただいたことで、この言葉をかみしめることができました。これからも少しずつ調査を積み重ねていきたいと思っております。

自分のような現場一筋だったものが、このような賞をいただけたということで、忙しい予報現場の中、調査研究を進める方々の少しでも励みになれば幸いです。

最後に、共に調査に携わった方々やアドバイス・励ましをいただいた先輩・同僚の皆さまに感謝のこたばを申し上げたいと思います。

支部だより

関西支部2004年度第3回例会のお知らせ

日本気象学会関西支部は2004年度第3回例会（中国地区）を次の通り開催します。多数のご参加をお願いします。

日 時：2005年2月22日（火）10：00-17：40

場 所：神戸大学瀧川記念学術交流会館
（神戸市灘区六甲台町）

1. 「海洋鉄塔による風速鉛直プロファイル観測データの解析」 *大澤輝夫、片岡 顕（神戸大学海事科学部）

2. 「航空機搭載合成開口レーダ（Pi-SAR）による海上風推定精度の検証」

*竹山優子（神戸大学自然科学研究科）、
香西克俊、大澤輝夫（神戸大学海事科学部）

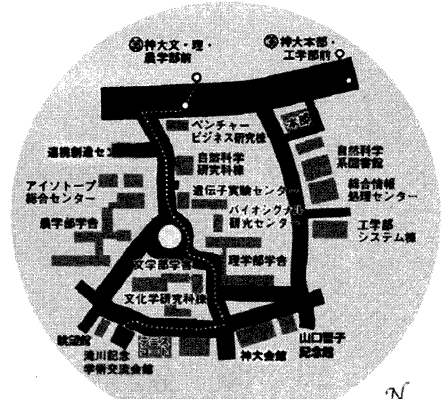
3. 「平成16年（2004）9月5日、紀伊半島沖地震の前兆現象」

*薩谷泰資（イオン情報研究所/神戸イオン商会）

4. 「淀川河口域における一酸化二窒素の濃度変動」

*森 孝紘（神戸大学自然科学研究科）

- 5. 「伊勢湾の船舶による海洋拡散の影響」
*内藤泰成, 関根義彦 (三重大学生物資源学部)
- 6. 「温排水拡散場における海水温度と気温・湿度との関係」 後藤隆雄 (元神戸大学工学部)
(昼食休憩11:35-13:00)
- 7. 「神戸周辺での晴天日における大気境界層内の日変化 (II)」 *清原康友 (神戸大学自然科学研究科), 山中大学 (神戸大学自然科学研究科/JAM-STECH-IORGC)
- 8. 「六甲山地周辺の局地循環に関する数値シミュレーション」 *三宅里香 (神戸大学自然科学研究科), 山中大学 (神戸大学自然科学研究科/JAM-STECH-IORGC)
- 9. 「2004年8月1-2日に発生した四国豪雨の研究」
*梅本泰子, 手柴充博, 橋口浩之 (京大大学生存圏研究所), 林 修吾 (気象研究所), 深尾昌一郎 (京大大学生存圏研究所)
- 10. 「最近発生した黒潮大蛇行の観測」
*酒井靖弘, 関根義彦 (三重大学生物資源学部)
- 11. 「最近の黒潮流路の変動を考慮した数値モデル実験」 *下畑健一, 関根義彦 (三重大学生物資源学部)
- 12. 「最近の黒潮流路の変動の力学について」
*関根義彦 (三重大学生物資源学部)
- 13. 「非線形補正されたエクマンポンピングに関する理論的研究」 *石田晋一, 岩山隆寛 (神戸大学自然科学研究科)
- 14. 「1989年を境とする大気大循環の変化について」
*平井悠史, 関根義彦 (三重大学生物資源学部)
- 15. 「1997~98年に発生したエルニーニョとその日本への影響」 *近藤善郎 (神戸大学自然科学研究科), 山中大学 (神戸大学自然科学研究科/JAM-STECH-IORGC)
- 16. 「2004年の台風と海面水温場の特徴」
*和田章義 (気象研究所台風研究部)
- 17. 「西部赤道太平洋海域における現場分光放射計を利用した衛星海色プロダクト検証に関する研究」
*佐々木杏奈 (神戸大学自然科学研究科), 香西克俊 (神戸大学海事科学部)
- 18. 「Sea Level Variation in the Java Sea revealed



会場案内図.

by satellite and in situ measurements」

*Ibnu Sofian,

Katsutoshi Kozai (神戸大学海事科学部)

特別講演 (16:30-17:30)

題目:「環境流体中の乱流輸送現象」

講演者: 植田洋匡 (京都大学防災研究所)

懇親会: 17:40-19:00頃で予定しています.

交通: JR 西日本六甲道駅, 阪急電車六甲駅, 阪神電車御影駅より市バスに乗りし「神大文・理・農学部前」で下車.